

「アタシの残業が減らないのはどう考えてもお前らが悪いっ！！」

(Ver.20140607・木の葉燃朗)

タイトル：アタシの残業が減らないのはどう考えてもお前らが悪いっ！！

カテゴリ：カードゲーム

人数：6人

カード構成：

- ・ キャラクターカード：6枚
 - ・ 「仕事」カード：6種類×11枚＝66枚
 - ・ 「イベント」カード：13枚
 - ・ 「定時」カード：1枚
- ◇ 合計86枚

ゲームの流れ：

1. 準備

プレイヤーはそれぞれ、

- ・ キャラクターカードを1枚（任意のキャラクターを選ぶ）
- ・ 「仕事」カードを3枚（ランダムに配布）

持ってゲームスタート。

最初に配布されたカードに「イベント」カードがあったプレイヤーは、「イベント」カードを山札に戻して再度カードを引く。「仕事」カードが3枚になるまで繰り返す。

残りの「仕事」カード、「イベント」カードは混ぜて山札とする。

山札の下15枚の中に「定時」カードを混ぜる。

2. スタートプレイヤーの決定

前月の残業時間が最も多かったプレイヤーからスタート。

残業時間を思い出すと気分が悪くなるプレイヤーがいる場合、サービス残業（ただ働き）を強いられていて正しい残業時間が分からない場合、全員無職の場合などは、他の方法でスタートを決める。

3. プレイヤーごとのターン

プレイヤーは山札から1枚カードを引く。

- (1) 「仕事」カードだった場合、いずれかの行動を取る。

①仕事をこなす

引いた「仕事」カードを公開し、得点を獲得。

この時、手札に同じ種類の「仕事」カードがあれば、制限枚数まで同時に公開できる。

出した「仕事」カードの枚数と得点は下記の通り。

1枚=1点、2枚=3点、3枚=5点、4枚=7点、5枚以上=10点

※こなせるのはそのターンで引いた種類の「仕事」カードのみ。手元にある別の種類の「仕事」カードは出せない。

制限枚数は、「仕事」とキャラクターの組み合わせで異なる。得意な「仕事」は多い枚数をこなせる。苦手な仕事は少ない枚数しかこなせない、あるいは1枚でもこなせない（「自分にはできない仕事」）。

【仕事とキャラクターの関係】

書いてある数字が同時にこなせる最大枚数。×はそのキャラクターにできない仕事

キャラクター→ ↓仕事	A エイギョー	B ケイリ	C クリエイター	D アシスタント	E サポート	F ヒシヨ
①事務	×	∞	2	3	2	4
②外出	∞	×	3	4	2	2
③お客様	4	2	×	2	∞	3
④企画	2	3	∞	×	4	2
⑤コミュニケーション	3	2	4	2	×	∞
⑥雑用	2	4	2	∞	3	×

②報・連・相

他のプレイヤーに「仕事」カードの交換を持ちかける。

自分が出せる「仕事」カードは1枚～3枚。そのうち、最低1枚は公開する。そのターンで引いたカードも出せる。

「〇〇の仕事を持っている人、交換しましょう」と呼びかけ、次の手番のプレイヤーから、応じるか拒否するかの意思表示をする。

応じるプレイヤーは、そのカードを含む1～3枚のカードを裏向きのまま出す。

複数のプレイヤーが応じた場合は、呼びかけたプレイヤーが誰と交換するかを決める。

全員が呼びかけを拒否した場合は、「仕事」カードを手札に戻して終了。

(2)「イベント」カードだった場合

「イベント」カードを公開し、指示に従う。公開したイベントカードは1点となる。

「イベント」カードでは、カードを引く指示が出る場合がある。この時に引いたカードが「イベント」カードだった場合、イベントの効果はなく、公開して1点となる。

【イベント】

- ・ **クソ上司 (2枚)** : 全員が山札からカードを1枚引く◆「仕事」カードは手札に、「イベント」カードは公開のみ (効果なし) で1点
- ・ **あとはよろぴく (2枚)** : 自分の手札にある「仕事」カード1枚を、誰かに押しつける
- ・ **バカ上司 (2枚)** : 全員の手札から1枚ずつ「仕事」カードを裏向きに出し、よく混ぜて一人1枚ずつ受け取る
- ・ **頼れるパートのおばちゃん達 (2枚)** : 手札に自分にはできない「仕事」カードがあれば、何枚でもこなせる◆なければ仕事はこなさず、このカードを公開して1点
- ・ **絶好調 (2枚)** : 手札にある「仕事」カードの中から、一種類をこなせる◆こなせる枚数は自分のスキルに従う
- ・ **それは〇〇さんの担当です (1枚)** : 1人を指名◆そのプレイヤーが山札からカードを1枚引く◆「仕事」カードは手札に、「イベント」カードは公開のみ (効果なし) で1点
- ・ **アタシに任せろ! (1枚)** : 特定の「仕事」カードを宣言する◆その「仕事」カードを持っているすべてのプレイヤーからカードを受け取る。2枚以上持っているプレイヤーからも1枚だけ受け取る
- ・ **突然のジョブローテーション (1枚)** : 自分以外のプレイヤーの手札から2枚ずつ「仕事」カードを裏向きに出し、よく混ぜて一人2枚ずつ受け取る ※1枚しか持っていないプレイヤーは出すのも受け取るのも1枚

4. ゲームの終了

山札から「定時」カードを引いたプレイヤーが出ると、ゲームが終了可能になる。

「定時」カードを引いたプレイヤーは、「定時」カードを公開して1点を得る。その後もう一度山札からカードを引き、ターンを行う。

「定時」カードが出た後に手札の「仕事」カードをすべてこなしたプレイヤーが出た時点で終了となる。

「仕事」カードがなくなるよりも先に山札がなくなった場合は、最後の山札を引いたプレイヤーのターンが終わった時点で終了となる。

※「定時」カードが出る前に、すべての「仕事」カードをなくしたプレイヤーについてこのプレイヤーは「早退」となり、ゲームから脱落 (点数0点で終了) となる。

5. 勝利判定

こなした「仕事」カードの点数をすべて足す。

手札にある（終わらなかった）「仕事」カードの分だけ点数からマイナス。マイナス点は残ったカードによって下記の通り。

1枚＝－1点、2枚＝－3点、3枚＝－5点、4枚＝－7点、5枚＝－10点

6枚目以降は1枚につき－1点（6枚＝－11点、7枚＝－12点、・・・）

6. キャラクター紹介（イラストは「似顔絵イラストメーカー」で制作しました）

	<p>バンダナ系クリエイター 志淵 洋子（しぶち ようこ）</p> <p>常にバンダナ着用。服装規定的にNGなはずだが「しぶちよはそういう子だから」と許されている。仕事に夢中で会社に泊り込んだり会社で自炊したりもするが、時には早く帰らねばならぬ日もある。そう、今日は高田馬場のゲームセンターで行われる対戦格闘ゲームの大会に出場するのだ！</p> <p>「仕事は一日18時間！」</p>
	<p>タイクカイ系エイギョー 蒼井 撫子（あおい なでしこ）</p> <p>小学生の頃からのサッカーファン。高校・大学ではフットサルでボールを蹴っていた。社会人となった今も、サポートするチームと日本代表の試合観戦は欠かさない。今日は、日本代表のワールドカップ出場をかけた大一番。なにがあっても駆けつけたい！</p> <p>「絶対に残れない平日が、ここにある！」</p>
	<p>オツボネ系ケイリ 蛇芽垂 愛（へびめたる あい）</p> <p>一見地味な彼女。しかし、ひとたび会社を出ると連日ヴィジュアル系バンドのライブに通い、踊りまくり、叫びまくっている。そんな彼女の一面を知る者はいない。今日は特に愛するバンド「タホイヤルズ」のワンマンライブ。開演は18時30分、会場は渋谷！</p> <p>「……………（六つの地獄を、順に廻れ！）」</p>
	<p>アネゴ系カスタマーサポート 肝津 珠代（きもつ たまよ）</p> <p>産休・復職をはさみながら、7人のこどもを育てる肝っ玉母さん。仕事も手を抜かず、コールセンターの経験は社内の誰よりも豊富で、役員からも一目置かれている。今日は四男三女の三男坊の誕生日。ごちそうとケーキをつくるために、ダッシュでお迎えに急ぐ！</p> <p>「焦ってもビビっても明日は来るわよ」</p>
	<p>バリキャリ系ヒシヨ 一式 高江（いっしき たかえ）</p> <p>某一流大学の経営学部から入社。この会社を選んだのは「小規模の会社で様々な仕事を覚えるため」、「数年後には起業を考えています」と公言してはばからない意識高い系。今日は敬愛する経済評論家のセミナーに参加し、ぬかりなく人脈作りも！</p> <p>「レバレッジなライフハックがコアコンピタンスですから」</p>
	<p>テンネン系アシスタント 春日野 歩美（かすがの あゆみ）</p> <p>関西出身。高校生の頃に東京に転校。関西出身ということで「大阪」というニックネームだった。ぼんやりしているが、意外と仕事はできる。意外と鋭いツッコミもできる。今日は特に用事はないが、みんなが早く帰りたいそうなのを見て、なんとなく「あたしも帰るー」と決意！</p> <p>「あたしなー、東京でOL やってんねんで」</p>